

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は四ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時四〇分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 問題用紙と解答用紙を提出してください。
- 5 受験番号と受験者氏名を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入してください。

受験番号	受験者氏名

目黒日本大学中学校

次の文章A・文章Bを読んで、あとの問題に答えなさい。

文章A

外国人労働者が増えると、必ず出てくる声のなかに、彼らが増加したせいで犯罪が増えた、というものがあります。日本でも言われましたし、今後も必ず出てくるでしょう。

この問題には、当たっている面と、見当違いの面があります。第一に、外国人労働者が罪を犯しやういといふことはありません。彼らはお金を稼ぐ目的で日本に来るわけですから、犯罪に手を染めて捕まってしまうえば、勾留され、起訴されます。裁判にかけられて有罪になれば、罰金を払わされたり、服役したり、強制的に国外退去となるのです。それでは元も子もありませんから、ふつう、そんなことはしません。

しかし、人が増えれば、それだけ犯罪の件数が増えることも確かです。まして、日本の外国人労働者受け入れ政策というのは、あまりにずさんで準備が不足していますから、いろいろなことに不満をもつた外国人労働者が犯罪に走ったり、犯罪組織とつながってしまうことは、十分に想定できます。

(内藤正典『外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?』による)

〈言葉の説明〉

勾留……被疑者(被告人)を、取り調べの目的で、一定の場所にとどめておくこと。

起訴……検察官が、裁判所に刑事裁判を求めること。

文章B

外国人との「共生」は決して簡単ではありません。言葉や宗教、文化、習慣が違うからです。この単純明快な理由があるにもかかわらず、わが国は「国際化」「多様性」を金科玉条のように打ち出し、共生を「強制」しています。その背後で、普通の暮らしが脅かされている国民がいます。それも「不法」な形で滞在中の人たちの行動によつてです。（中略）

労働力不足を背景に、安易ともいえる「移民推進」政策を進めた欧米は、国柄が変わるほどの治安悪化に苦しみ、ようやく移民政策の大転換を始めました。今、わが国はその失敗から学ぼうとする機運すらなく、むしろ欧米が歩んだ道をひたすら突き進んでいます。

このまま「共生の強制」が続けば、逆に、普通の暮らしを望んでいるだけの人たちの心の中に、ルールを守らない外国人に対する憎悪のようなものを生み出す恐れすらあります。その不満がいつか爆発し、社会の分断を増幅させるかもしれません。それこそが最も危惧すべき事態ではないでしょうか。

（産経新聞取材班『国会議員に読ませたい「移民」と日本人』による）

〈言葉の説明〉

金科玉条……何よりも大切にして従うべき決まり。

安易……のんきなこと。いい加減なこと。

国柄……その国の特質・持ち味。

増幅……あるものの程度や範囲を大きくすること。

危惧……悪い結果になりはしないかと心配しおそれること。

問題

文章Aは、「外国人労働者の増加」・**文章B**は、「外国人との共生」について述べられた文章です。

解答らん①には、文章Aから読み取れることを「治安の悪化」という言葉をもちいて、百字以内で分かりやすく書きましょう。※「治安の悪化」は「治安が悪化」でもかまいません。

解答らん②には、文章Bの中で述べられている筆者の考え方を、同じく「治安の悪化」という言葉をもちいて、百四十字以内で分かりやすく書きましょう。※「治安の悪化」は「治安が悪化」でもかまいません。

解答らん③には、文章A・Bを読んで、外国人と生活していくうえで重要だと考えることを、自分の体験や経験などを交えながら、四百字以上、五百字以内で分かりやすく書きましょう。

〈書き方のきまり〉

- 題名、名前は書かずに一行目から書き始めましょう。
- 書き出しや、段落だんらくを変えるときは、一まず空けて書きましょう。ただし、解答らん①と②については、一まず目から書き始めましょう。
- 行を変えるのは段落を変えるときだけとします。会話などを入れる場合は、行を変えてはいけません。
- 読点とくてん↓、句点↓。かぎ↓「などはそれぞれ一まずに書きましょう。ただし、句点とかぎ↓。「は、同じますに書きましょう。
- 読点や句点が行の一番上にきてしまうときは、前の行の一番最後の字といっしよに同じますに書きましょう。

- 書き出しや、段落を変えて空いたままも字数として数えます。
- 最後の段落の残りのますは、字数として数えません。
- 解答を直すときは、消しゴムで丁寧ていねいに消してから書き直しましょう。

以下余白

